

目黒区長選挙を考える会 御中

〇〇

個人の立場で「青木英二氏」の回答に率直に意見を申し述べます。まとまっておらず、不十分ですが…黙っていられてませんでしたので。多少でも参考になればと思って。

回答で疑問なのは、「特定の候補者にむけたものではない」と言明していますが、なぜ、今回の区長選挙の選挙公報に「どのような効果を期待して」、「共産の手から守る」というスローガンを掲げたのかが不明です。

選挙は相手の政策・主張を意識して批判し、自らの政策と主張を述べて選挙民の選択を仰ぐものです。

今回の選挙及び選挙公報、各陣営の宣伝物を見た場合、「共産」という表現が見当るのは、「新しい目黒区長をつくる会」から立候補した山本ひろ子候補を推薦している政党に「日本共産党」が加わっているからではないでしょうか。（「共産」とだけふれているのは巧妙ですが・・・）

他に特定の候補はみあたりません。

もし、また今回の区長選挙でどの候補も「目黒を壊す」とは主張していません。

「共産」の意味（？）を広辞苑から引用していることについて

広辞苑を引用する以前に「日本における共産主義をめざす」という日本共産党の綱領・大会決定・主張も「ここが問題だ。」と論述すべきではないでしょうか。

どこの国のいつの時代の「学説」について述べたつもりでしょうか？意味不明です。

青木浩二氏の回答の「区民」を「区民個人の権と自由な活動」を共産主義イデオロギーから守る立場をとることをはっきりと表明するものです。」についてへの危惧。

現職の区長が公開質問状の回答でこのように自分の意見を述べるのは（内容も含めて）前代未聞です。それは以下の3つの点で問題です。

(1) 「共産主義社会」は社会の在り方の問題だとかがえまます。一自治体の首長選挙の結果でそれを問うものではないのではないのでしょうか。少なくともどの候補も主張していません。

「共産主義のイデオロギー」は「区民個人の権利と自由な行動を」「抑制する」の持論で区民に恐怖感をあおっているとしか思えません。

(2) 差別意識はあってはならない区の取り組んでいる人権政策を列記していますが、「思想信条の自由」について触れていません。区民には憲法も保障している思想信条の自由があります。

このことはどのようにお考えでしょうか。

(3) 公職にある区長が(1)、(2)の姿勢で区政運営をするのは問題です。

区議会には様々な主張と政策で当選した区議会議員がいます。目黒区職員も公務員試験で合格した方が「憲法を守る」宣誓書を明らかにして公務に従事されています。

区民は様々な考え方もあります。「自論のみで」区政運営をするとなると極めて問題だと考えます。

以上